

生体防御

Host Defense System

ユニット責任者：微生物学 教授 竹村 弘

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	生体防御	7月2日 ~ 7月5日	竹村 弘

1. ユニット概要・学習内容

生体防御とは、細菌やウイルス、原虫などの微生物、または癌などの侵襲から宿主を守る防御機構をいう。疾患は、侵襲力が防御力より強まった時に生じるが、反面、宿主を守る防御機構が過剰に発現したり、制御がきかずに暴走したりした場合には、防御機構による疾患（自己免疫疾患やアレルギーなど）も生じる。本ユニットでは、微生物感染にみられる非特異的および特異的防御反応、生体防御機構の破綻に基づく疾患の発症機序、感染症診断の検査法について学習する。

2. 到達目標

- 1) 微生物の種類や生体防御機構の全体像を説明できる。
- 2) 生体の恒常性維持に関わる生体内の物質や細胞について説明できる。
- 3) 微生物と宿主との生体防御反応を説明できる。
- 4) 感染症診断における微生物学的検査法について説明できる。

3. 学習上の注意点

生体防御ユニットでは多くの専門用語を学び、その意味を理解していくことが必要である。おそらく、その多くは初めて耳にするものであろうし、その定義を理解するだけでも多大な労力を要すると思われる。それ故、より基礎的な知識の習得から始めて、より難解な生体に起きる現象を定義づけ、その内容を取得していけるように学習項目を構成してある。事前学習の指示に従って予習を行い、講義に臨むこと。また、講義後、当日中に授業内容について復習することが重要である。

4. 参考書

- ・ Anthony Strelkauskas, Jennifer Strelkauskas, Danielle Moszyk-Strelkauskas 著、神谷茂/河野茂 監訳 (2012) 『微生物学 基礎から臨床へのアプローチ』メディカルサイエンス・インターナショナル
(書評) 基礎から臨床にかけて医学微生物学全般を網羅した教科書。

- ・吉田眞一、柳雄介、吉開泰信（2013）『戸田新細菌学』（改訂34版）南山堂（書評）我が国の医学微生物学の教科書の中で最も権威が有る。
- ・中込治、神谷茂、錫谷達夫 編集（2018）『標準微生物学』第13版 医学書院（書評）コンパクトに最新の情報を交えて解説した教科書。
- ・【各自購入】Abul K. Abbas, A. H. Lichtman, Shiv Pillai 著，中尾篤人 監訳（2018）『分子細胞免疫学 原著第9版』（エルゼビア・ジャパン）（書評）ビジュアルに優れており理解しやすい。基礎と臨床の連携した解説がある。

5. 成績評価

下記の評価項目を総合して総括評価する。

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	1	90（％）	
TBL等	1	5（％）	
授業態度		5（％）	

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
微生物学	教授	竹村 弘	在室している場合 12:40～13:20 16:50～18:00	医学部本館5階 微生物学教室	(内線) 3539
微生物学	講師	三好 洋	事前にメールでア ポイントをとれば 何時でも可。	医学部本館5階 微生物学教室	(メール) hmiyoshi
微生物学	講師	浅井 大輔	平日 12:30～13:20 17:00～18:00	医学部本館5階 微生物学教室	(内線) 3539

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
免疫学・ 病害動物学	教授	鈴木 登	月曜日 12:00～13:00	医学部本館5階 免疫学教室	(内線) 3547
免疫学・ 病害動物学	准教授	清水 潤	火曜日 12:00～13:00	医学部本館5階 免疫学教室	(内線) 3547
免疫学・ 病害動物学	助教	中田 なぎさ	火曜日 13:00～14:30	医学部本館5階 免疫学教室	(内線) 3547